

## 会 議 事 録

1 会議名	第1回長岡市文化財保護審議会
2 開催日時	平成30年8月20日（月曜日）
3 開催場所	さいわいプラザ3階 305教室
4 出席者名	審議会委員 伊藤委員、笹原委員、鈴木委員、高橋委員、羽鳥委員、 原委員、平山委員、深澤委員、星野委員、三富委員 委員以外の出席者 金澤教育部長 （事務局＝科学博物館） 小熊館長、佐藤補佐、田中係長、鳥居主査、新田主査 小林主査、丸山主査、加藤主査、山賀主査
5 欠席者名	なし
6 議題	報告（1）正副委員長の互選について （2）新たに国重要文化財指定の答申が出された「旧平澤家住宅」について （3）新たに新潟県文化財指定の答申が出された「木造菩薩立像」について
7 審議結果の概要	（1）正副委員長の互選について 委員長 鈴木委員、副委員長 伊藤委員 （2）新たに国重要文化財指定の答申が出された「旧平澤家住宅」について 概要を事務局より報告 （3）新たに新潟県文化財指定の答申が出された「木造菩薩立像」について 概要を事務局より報告

8 審議の内容	
委員 事務局	<p>(1) 正副委員長の互選について 委員長に鈴木昭英委員、副委員長に伊藤善允委員が選出された。</p> <p>(2) 新たに国重要文化財指定の答申が出された「旧平澤家住宅」について 3つの建物が全て指定されたのか。 国登録有形文化財に登録された時は、それぞれ登録されたが、重要文化財としては全部で1棟として指定された。</p>
委員 事務局	<p>棟梁以下の職人の資料は残っているか。 資料が残っておらず、不明である。</p>
委員 事務局	<p>「松籟閣」という名称は、建物全体の名称か。 もともとはすでに失われてしまった建物の名称であった可能性があるが、資料がなく詳細は不明である。しかし、現在では建物全体を「松籟閣」として活用しており、すでに広く知られた名称であるため、文化庁との協議で指定名称に「松籟閣」と入れることになった。</p>
委員 事務局	<p>(3) 新たに新潟県文化財指定の答申が出された「木造菩薩立像」について 新潟県指定となった経緯はどうか。 新潟県から平安時代の仏像を新潟県指定にしてはどうかという話があったため、本件を含め3件の文化財について情報提供した。その後、新潟県が検討した結果、本件が指定された。</p>
委員 事務局	<p>「木造菩薩立像」にみられる地域性とは。 平安時代後期の京都では寄木造が主流であるが、「木造菩薩立像」は一木造で古い造りになっている。</p>
委員 事務局	<p>もともこの場所に2体あったのか。 『温故の栞』によると15世紀頃地中から掘り出されたと伝えられ、それ以来大切に伝えられている。また、観音堂は当初は現在の場所から少し離れたところに建てられたが、信越線の拡幅により現在の位置に移った。</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>中越地震で修復した際に新たに銘札などが見つかったようであるが、何が見つかったのか。</p> <p>2体の菩薩像のそれぞれの胎内に阿弥陀如来が2体、地藏尊が1体、仏舎利容器が1個、修理銘札が1枚、納められていた。</p> <p>科学博物館で開催中の「長岡藩主牧野家の至宝展」を視察</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>